

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

「過大・過密」解消に向け支援学校の抜本的増設を 大阪府議会に署名1万9203筆を最終提出



署名手交にはよくする会の父母が
参加しました

3月2日、大阪の障害児教育をよくする会（以下、よくする会）、大阪障害児・者を守る会、障害者（児）を守る大阪連帯協議会、全国障害者問題研究会大阪支部等で構成する大阪障害児教育連動連絡会は、「『今後の児童生徒数の増加』に見合った府立支援学校の新校整備を求める請願」署名を大阪府議会事務局に手交しました。

大阪の教室不足は全国一の深刻さ 支援学校増設の早急な具体化を

3月1日、文部科学省は「公立特別支援学校における教室不足数調査の結果について（令和3年10月1日現在）」を公表しました。全国で3740教室が不足しており、このうち大阪府（堺市立を含む）の不足数は528室（前回2019年度調査では355室、およそ1.5倍）で、都道府県別で最も深刻な実態が明らかになりました。2日の署名手交では、よくする会の西面事務局長は、前日に公表された大阪の不足教室数結果や、「過大・過密」により知的障害支援学校における子どもたちの学習権利が侵害されている問題を指摘しました。そして、2月17日に府教委が公表した「知的障がい支援学校新校整備事業費」（※詳細は囲み記事参照）が示す「高校と支援学校の併設」ではなく、子どもたちにとって当たり前の教育条件を整備するために抜本的な支援学校増設の具体化を早急にすすめるよう強く求めました。また、よくする会の岩田会長は、「他市の支援学校に長時間かけて通って親も負担が大きい。特別支援学校は過密状態が続いていて、今すでに苦しんでいる子どもたちがいる。府内各地域に新しい学校を整備してほしい」と訴えました。引き続きコロナ禍のなかで、今年度も多くの教職員・家族のみなさんに署名のご協力をいただき、ありがとうございます。今後も、子どもたちの教育条件整備を求める声をみんなであげていきたいと思います。

府教委 知的障がい支援学校新校整備を公表 府立生野支援学校を府立大阪わかば高校敷地への移転（併設）

2月17日、2022年度の大阪府予算案（知事査定）が公表されました。予算案では、「知的障がい支援学校新校整備事業費」として、3つの事業が明らかとなりました。主な事業は以下の通りです。

【事業目的】府立支援学校における知的障がいの児童生徒数の増加に対応するため、新たな支援学校の整備等による、教育環境のさらなる充実をめざす。

【当初予算額】136、207千円
（一般財源：62、556千円）

【事業概要】

(1) 調査検討（5、060千円）
国が定めた特別支援学校設置基準の適合状況等を踏まえ、在籍者の増加が見込まれる地域を中心に、設置基準に適合させるために必要となる方策等の調査検討を行う。

(2) 基本計画策定（10、031千円）
基本方針に基づいて今年度を実施した学校整備調査検討の成果等を踏まえ、府立生野支援学校の府立大阪わかば高校敷地への移転（併設）にかかわる基本計画の策定を行う。

(3) 西淀川地域新校整備関連
（121、116千円）
もと府立西淀川高校を活用した新校整備について、今年度実施した基本設計の成果等を踏まえ、引き続き、実施設計を進め、工事に着手する。（開校予定は令和6年度）

また、「府立知的障がい支援学校の在籍者数と特別支援学校設置基準（校舎面積）の適合状況」として、基準を満たさない支援学校（R3年度時点）は、大阪府地域は生野・思兼・住之江、豊能三島地域は豊中、中・南河内地域は八尾、北河内地域は守口、泉州地域は和泉・泉北高等支援学校を公表しました。



連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」にはまっている。今の主人公「大月ひなた」は、私と同年代の設定。映像に出てくるテレビ、ラジカセ、バイクのシャリー、ガラスコップ、醤油さし、BGM、ノストラダムスの大予言など、すべてが懐かしい。

主題歌「アルデバラン」は森山直太郎の作詞作曲で、AIが歌う。「アルデバラン」とは、おうし座α星の固有名で、アラビア語の「あとに従う者」の意味らしい。

物語は「安子」「るい」「ひなた」の三世代の女性が紡ぐストーリーで、一九二五年のラジオ放送が始まった日に、安子が生まれたことから始まる。物語には、戦争がからみつく。今は、ひなたと五十嵐文四郎のこれからの気がかり。しかし、一番気になるのは、安子とるいの誤解がとれるのかだ。大月錠一郎のトランプをもう一度聴いてみたいとも思う。

第八十四話の中で、尾上菊之助が演じる二代目桃山剣之介が、ひなたに「志を失わなければきつとなれる」と語りかける。「志」はこの物語のキーワードに感じる。その言葉に私は、自分自身の揺らぎを指摘されたように感じた。それは、ロシアがウクライナに侵攻し、自分は無力なのか、民主主義の力とは何か。そして、日本国憲法の可能性を自問自答していた時だった。

話は変わるが、沖縄で米軍基地反対運動に力をつくす、九十九歳で亡くなった文子さんという人がいる。普天間基地を動かすことはできなかったが、毎日、憲法の掛け軸の前に座り、「これがあるから、もう私たちは荒波の小船ではない」と言った。その「希望の光と志」は憲法九条だ。

2021年度 大障教課別交渉

現場よりの切実な実態訴え改善求める

1月27日、大障教は教育総務企画課・高等学校課・保健体育課・学校総務サービス課・施設財務課との課別交渉を実施しました。交渉には10分会から12人が参加し現場の実態を具体的に示して改善を求めました。

また、1月28日、支援教育課・教職員人事課・教職員企画課との課別交渉を実施しました。交渉には9分会から13人が参加しました。交渉でのやりとり概要を紹介します。

(寝屋川支援分会)

標準法にもとづく教職員配置を

**児童生徒・教職員の安全のため空調設備の改修を
小学部急増による教室不足を解消するために
知的障害支援学校の増設を**



寝屋川・山岡分会長

教職員人事課は、「実態は重々受けとめたうえで、今後とも支援学校における教育水準や教育課題への対応等を踏まえつつ、法令に基づく定数を確保していく中で、適正な教員配置に努めていく」と説明しました。

施設財務課は、「東棟6教室のエアコン改修については、令和4年度に実施設計、令和5年度に空調設備改修工事をおこなう方向で準備している」と説明しました。
支援教育課は、「令和2年

(刀根山支援分会)

院内分教室の教職員一人一台のSSC端末配置を

教育総務企画課は、「各分教室において、病院施設にネットワーク工事を実施するためには、施設所有者の許諾を得ることやネットワーク機器を調達することなど整備に困難が生じていることから、モバイルWiFiルータを整備し、共用の教職員端末機を配備しているところ。刀根山支援学校全体には必要数は配置している」と「端末増についての要望は担当課と共有したい」と説明しました。

学校総務サービス課は、「現在、学校現場においては、統合ICT事業で導入された

(寄宿舎教員部)

「宿舎指導員」の採用選考実施を 寄宿舎3校への栄養教諭1名ずつの配置を

支援教育課は、「寄宿舎については、遠隔地から通学困難のために入舎する子どもがいることから必要性は感じている。今後については、金星や視覚支援学校と聴覚支援学校の児童生徒数の推移等を踏まえながら判断していきたい」と説明しました。

(栄養教員部)

民間委託に伴う栄養教諭の 業務過多に対する負担軽減措置を

保健体育課は、「令和2年8月から契約の更新により業務を開始した1社において、主に受託者の運営体制の不備により、退職後の調理業務従事者が十分に配置されないなどにより、遅配等の影響がでている」「業務運営体制の整備、従業員の配置など、引き続き当該事業者への指導等、対応を実施していく」と説明しました。



栄養教員部 林さん

(交野支援学校四條畷校分会)

支援学校生徒の実態に沿った水道設備の増設、 男子洋式トイレ増設を

施設財務課は、「水道設備やトイレの増設については、現在の財政状況では困難な状況」「和式トイレの洋式トイレへの改修工事については、

(光陽支援分会)

給食調理業務の民間委託化における 安定的な給食の提供を

保健体育課は、「いただいた意見を踏まえ、異物混入などの事故等、調理業務従事者の配置の不備などの会社の指導管理について、加重点方式による基準を定めたところ。本基準については、履行状況の確認等が必要となることから、その実施について検証し、本格実施の可否を判断したい」「入札前の業者の事前視察を入札参加資格の要件として追加したところ」と説明しました。



光陽・佐々木分会長

(だいせん聴覚高等支援分会)

校内研修を含めて手話通訳者派遣等の 措置に関わる校長マネジメント予算の増額を

高等学校課は、「校長マネジメント経費の校内での用途については、予算の範囲内で効果的に活用いただいていると認識している」「合理的配慮の点については支援教育課と共有したい」と説明しました。

(泉南支援分会)

新校整備までの児童生徒数増による 教室不足への緊急的な対応を

支援教育課は、「通学区域割変更については、基本方針をあらためて策定するにあたり有識者会議でも意見をいただいたところ。今後は慎重に見極めていく方針を府としては考えている」「特別支援学校設置基準制定を受け、設置基準への適合状況を含めて、今後については検討を進めていきたい」と説明しました。

(東淀川支援分会)

病休代替講師の速やかな確保・配置を

教職員人事課は、「代替講師が見つかりにくい状況があることは認識しており、府教育庁としては、速やかに代替講師を配置できるよう府立学校長と連携・協力して、講師の確保に努めている」「代替講師となる人材確保のためには、講師登録者を増やすことが必要であると考えており、大学訪問の実施や講師登録説明会の開催など、人材確保の取組みを進めている」と説明しました。

「大障教ハラスメントアンケート」
現在、執行部を中心に今後に向けて議論を重ねています。アンケート集約の概要および大障教の運動方針については、新年度の大障教ニュースでお知らせする予定です。
たくさんの回答を寄せていただき、ありがとうございました。